

## 事務事業評価シート

(おもて)

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち	事業期間	平成28年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ	根拠法令、根拠計画等	公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金交付要綱
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保		
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	事業分類区分
			0	0	運営方法
			0	0	会計区分
予算	予算事業名	シルバー人材センター運営補助金	予算事業コード	01-03-01-05-07-02	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(公社)鳥取市シルバー人材センター
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う(公社)鳥取市シルバー人材センターの経営の安定を図ることにより、就業による高齢者の積極的な社会参加と高齢者の生きがいづくりを創出し、もって活力ある高齢社会と雇用の創出に資する。
手段 (どうするのか)	運営及び事業に要する経費を補助する。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内 容	年度別計画	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。
	年度別実績	補助金交付 9,200千円	補助金交付 7,200千円	補助金交付 7,200千円		
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	10,002	8,012	8,004	0	0
	直接経費 A	9,280	7,280	7,280	0	0
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,280	7,280	7,280	0	0
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284																
	【10次総の施策体系】2101																
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P120(経001)																
	【事業の概要】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う(公社)鳥取市シルバー人材センターの運営に要する経費を補助する。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業の成果】</th> <th>会員数</th> <th>就業率</th> <th>受託・派遣事業総実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>749人</td> <td>88.5%</td> <td>272,870千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>786人</td> <td>90.7%</td> <td>283,424千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>771人</td> <td>91.6%</td> <td>287,661千円</td> </tr> </tbody> </table>	【事業の成果】	会員数	就業率	受託・派遣事業総実績	平成28年度	749人	88.5%	272,870千円	平成29年度	786人	90.7%	283,424千円	平成30年度	771人	91.6%	287,661千円
【事業の成果】	会員数	就業率	受託・派遣事業総実績														
平成28年度	749人	88.5%	272,870千円														
平成29年度	786人	90.7%	283,424千円														
平成30年度	771人	91.6%	287,661千円														

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	[KPI] シルバー人材センター会員数	100%	104%	101%		
	[KPI] シルバー人材センター受託事業受注件数				95%	
	[KPI] シルバー人材センター派遣事業受注件数				174%	

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果  6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			引き続き支援を行っていく必要はあるが、自主事業の拡充等を促進し補助額の縮減に努める。
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	010600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者活用・地域雇用サポート事業	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金交付要綱
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
目標 の 予算	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意) 補助金交付 一般会計
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人		
			0	0		
			0	0		
予算	予算事業名	高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金	予算事業コード		01-03-01-05-07-17	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(公社)鳥取市シルバー人材センター
意図 (どのような状態にするために)	少子高齢化による生産年齢人口の減少と高齢者雇用の変化に伴い、派遣労働で対応することのできる高齢者労働力を確保し、人手が不足している業種の企業に派遣を増やすことで、高齢者の就業を拡大するとともに地元企業の人材不足に対応する。
手段 (どうするのか)	派遣事業に要する費用を補助する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。
	年度別実績	補助金交付 3,800千円	補助金交付 5,800千円	補助金交付 7,209千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	4,522	7,264	8,658	0	0
	直接経費 A	3,800	5,800	7,209	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,800	5,800	7,209	0	0
	人件費 B	722	1,464	1,449	0	0
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.20	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度					
				1	派遣件数	件	目標	27	28	31	34	37	
						実績	30	28	54	0	0		
2	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。				目標	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)				実績	0	0	0	0	0	0		
3	(指標の説明)				目標	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)				実績	0	0	0	0	0	0		

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284																
	【10次総の施策体系】2101																
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P120(経002)																	
【事業の概要】 国の「高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金」を受けて実施している高齢者の労働者派遣事業に対し、国の補助要件である地元市町村同額以上の補助を行うことで、(公社)鳥取市シルバー人材センターの派遣事業の安定化を図り、地元企業の人材不足解消に資する。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業の成果】</th> <th>派遣件数</th> <th>就業延人員</th> <th>派遣実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>30件</td> <td>3,243人日</td> <td>15,826千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>28件</td> <td>5,153人日</td> <td>20,635千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>54件</td> <td>6,328人日</td> <td>24,329千円</td> </tr> </tbody> </table>		【事業の成果】	派遣件数	就業延人員	派遣実績額	平成28年度	30件	3,243人日	15,826千円	平成29年度	28件	5,153人日	20,635千円	平成30年度	54件	6,328人日	24,329千円
【事業の成果】	派遣件数	就業延人員	派遣実績額														
平成28年度	30件	3,243人日	15,826千円														
平成29年度	28件	5,153人日	20,635千円														
平成30年度	54件	6,328人日	24,329千円														
【今後の課題・方向性】 派遣法の改正により高齢者の派遣期間が緩和されたことを好機と捉え、少子高齢化による生産労働人口の減少に対する対応策として、また、慢性化しつつある本市域の人手不足を解消するため、高齢者の派遣事業のさらなる強化を図っていく。																	

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1. 派遣件数	111%	100%	174%		
	2.					
	3.					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

派遣法の改正により高齢者の派遣期間が緩和されたことを好機と捉え、少子高齢化による生産労働人口の減少に対する対応策として、また、慢性化しつつある本市域の人手不足を解消するため、派遣事業に携わる人員増が実施できるよう補助の拡充を検討する。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	010700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	職業紹介事業	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ			職業安定法
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保		根拠法令、 根拠計画等	
目標 の 施 策 の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	職業紹介事業費			予算事業コード	01-06-01-02-42-07

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	求職者
意図 (どのような状態にするために)	本市のデータベースへ登録した求職者と求人企業とのマッチングを行い、求職者の就労支援を行う。
手段 (どうするのか)	雇用アドバイザーによる就職相談や求職者と求人企業のマッチング支援などにより、雇用機会の創出と市民の就労支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問
内 容	年度別実績	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問		
		求職登録者数 558人 就職者数 522人 就職率 93.5%	求職登録者数 594人 就職者数 554人 就職率 93.3%	求職登録者数 610人 就職者数 569人 就職率 93.3%		
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	7,007	6,549	5,712	0	0
	直接経費 A	2,119	2,371	2,217	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
職員数の 内訳	一般財源	2,119	2,371	2,217	0	0
	人件費 B	4,888	4,178	3,495	0	0
	正規職員	0.40	0.30	0.20	0.00	0.00
職員数の 内訳	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活 動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	就職者数	人	目標	525	550	575	600	625	
			実績	522	554	569	0	0	
2	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284												
	【10次総の施策体系】2101												
<p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P129(経019)</p> <p>【事業の概要】 職業安定法に基づく職業紹介事業として、専任の雇用アドバイザーを配置した鳥取市無料職業紹介所を設置し、求職者に対する相談受付や職業紹介、企業訪問による求人開拓などを実施することで、求職者と求人者へのきめ細やかな支援を行い、雇用関係の成立を斡旋する。</p> <table> <thead> <tr> <th>【事業の成果】</th> <th>求職登録者数</th> <th>就職者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>22人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>36人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 有効求人倍率が高い水準で推移する中、企業が求める人材が不足しており、市内企業の人才確保が課題となっている。駅南庁舎に開設された生活困窮者向けハローワークや、平成30年度より地域振興課に設置したUJITアーン者向け無料職業紹介所と連携をとりながら、人材確保の取組を進めていく。</p>		【事業の成果】	求職登録者数	就職者数	平成28年度	22人	32人	平成29年度	36人	32人	平成30年度	16人	15人
【事業の成果】	求職登録者数	就職者数											
平成28年度	22人	32人											
平成29年度	36人	32人											
平成30年度	16人	15人											

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 就職者数	99%	101%	99%		
	2					
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
		移住交流情報ガーデンのあり方と合わせ、無料職業紹介所の設置場所の検討を行う。	
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

## 事務事業評価シート

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

## 1. 基本情報

位置 計 画 づ け の	体系区分	コード	名 称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち	事業期間	平成28年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ	根拠法令、 根拠計画等	鳥取市雇用促進協議会設置要 綱
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保		
施 策 の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	事業分類区分
			0	0	運営方法
			0	0	会計区分
予算	予算事業名	雇用促進協議会支援事業費	予算事業コード	01-06-01-02-42-12	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

2. 学業目的【目標】	
対象 (何を、誰を)	因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の高校生及び中小企業、鳥取市内の事業所に勤務している若手社員、中堅社員、採用担当者
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市の経済の発展並びに地元企業の人材確保及び雇用促進を図る。
手段 (どうするのか)	市内の雇用支援機関と連携を図るために設置された鳥取市雇用促進協議会に雇用促進のための事務を委託し、企業見学会、各種セミナーを開催する。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内 容	年度別計画	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 求職者支援事業 職場定着促進事業	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 求職者支援事業 職場定着促進事業	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 職場定着促進事業 人材確保促進事業	雇用の促進に関する事業実施	雇用の促進に関する事業実施
	年度別実績	企業見学会(参加者356人・6校、見学企業19社(延べ28社)) PC&コミュニケーション研修(3回・36人) 若者職場定着促進事業(セミナー3回・90人)	企業見学会(参加者556人・7校、見学企業19社(延べ41社)) PC&コミュニケーション研修(2回・19人) 若者職場定着促進事業(セミナー3回・62人)	企業見学会(参加者716人・9校、見学企業29社(延べ56社)) 若者職場定着促進事業(セミナー2回・90人) 人材確保促進事業(セミナー1回・13人)		
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	9,039	8,637	8,135	0	0
	直接経費 A	4,873	4,657	4,121	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県 地方債 その他 一般財源	0 0 0 4,873	1,154 0 0 3,503	235 0 0 3,886	0 0 0 0
	人件費 B	4,166	3,980	4,014	0	0
	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	嘱託職員	1.00	0.90	0.90	0.00	0.00
職員数の内訳	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284
	【10次総の施策体系】2101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P129（経020）
	【事業の概要】 市内の雇用支援機関の連携を図るために設置した鳥取市雇用促進協議会に事務・事業を委託することで、現在の課題である人材の安定確保に資する。 委託事業内容 若者の地元定着促進事業 若者の職場定着促進事業 人材確保促進事業
	【事業の成果】 平成30年度実績 高校生の企業見学会（参加者716人：9校、見学企業29社（延べ56社）） 若者の職場定着促進事業（セミナー2回開催・参加者90人） 人材確保促進事業（セミナー1回開催・参加者13人）
	【今後の課題・方向性】 有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続く中、若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上に向けた取組が必要である。

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	事業参加者数	118%	98%			
	[KPI] 参加者数(企業見学会)			119%		
	参加者数(セミナー)			206%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続く中、若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上に向けた取組が必要である。

## 事務事業評価シート

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

## 1. 基本情報

Ⅰ. 基本情報						
位置 計 画 づ け の	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成16年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	伝統工芸等後継者育成支援事業補助金交付要綱、伝統工芸等後継者育成支援事業実施要領
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
施 策 の	目標の種別			平成28年度	令和2年度	
	正規雇用の創造数			1,000人	5,000人	事業分類区分
				0	0	運営方法
				0	0	会計区分
予算	予算事業名	伝統工芸等後継者育成支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-46-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	研修従事者及び研修従事者を受け入れる伝統工芸事業者
意図 (どのような状態にするために)	伝統工芸が保存され活性化が図られる。
手段 (どうするのか)	後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行う。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内 容	年度別計画	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援
	年度別実績	補助金交付 活用件数:研修者6名 受入先事業者5事業者	補助金交付 活用件数:研修者1名 受入先事業者1事業者	補助金交付 活用件数:0件		
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	6,350	2,340	1,086	0	0
	直接経費 A	4,545	510	0	0	0
	直接経 費の財 源内訳	国・県	2,273	255	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,272	255	0	0	0
職 員 数 内 訳	人件費 B	1,805	1,830	1,086	0	0
	正規職員	0.25	0.25	0.15	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282
	【10次総の施策体系】2103
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P132(経025)
	【事業の概要】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金 目的: 伝統工芸等の技術を伝承するため、後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行い、伝統工芸の保存及び活性化を図る。 内容: 後継者の受け入れ事業者(5万円/月)と月に15日以上研修に従事する者(10万円/月)に対し助成する。また、県外から移住して研修を受ける従事者の家賃の一部を助成。(上限2万円/月) 補助対象者: 研修従事者を受け入れる伝統工芸事業者及び研修従事者
	【事業の成果】 平成28年度 4,545千円 (陶磁器2件、和紙3件、酒造1件) 平成29年度 510千円 (和紙1件) 平成30年度 0千円
	【今後の課題・方向性】 市外へのPR不足などから年々研修従事者が減少しており、市が主体的に市内外へ研修従事者を募集するとともに、研修従事者への助成を拡充することが必要である。

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 [KPI] 後継者数	150%	100%	75%		
	2 年間研修従事日数	233%	50%			
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	1年に2名の研修受入を想定しているところ、研修従事者が0人であったため。
事業の成果  6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市外へのPR不足などから平成30年度の研修従事者が0人であったため。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加  <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少  <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

研修従事者不足は深刻であり、解消に向けて、事業の内容及び補助対象経費の拡充を含めた見直しが必要である。

## 事務事業評価シート

(おもて)

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

## 1. 基本情報

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内外の学生及びUJターン者等、就職を希望する求職者、鳥取市内に主な事業所がある中小企業
意図 (どのような状態にするために)	本市へ進出する企業が相次いでいる状況であるが市内の学生が県外へ流出している現状を踏まえ、企業PRや情報発信を行うことで、市内企業が求める人材を市内外から確保する。
手段 (どうするのか)	大阪や岡山など県外における合同企業説明会への市内企業出展や、市内企業PRパンフレット及び地元企業魅力発信広告ツールの作成による企業情報の発信、移住希望者に対する就職相談の実施、企業の自社PR動画作成に対する補助金支援などにより、地元企業への就職を促進する。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	[KPI] 説明会開催大学数	校	目標 実績	3 5	4 24	30 20	30 0	0 0
	2	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。	[KPI] 県外からの転入・就職者数	人	目標 実績	22 48	33 65	44 80	85 0
	3	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。		目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284
	【10次総の施策体系】2101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P130(経022)
	【事業の概要】 県外合同企業説明会への市内企業出展勧奨や市内企業PRパンフレットの作成、地元企業魅力発信広告グッズの大学食堂等への設置や企業の自社PR動画作成に対する助成などにより、地元企業の人材確保を支援する。
	【事業の成果】 平成30年度実績 県外合同企業説明会出展:4/28マイナビ就職セミナー岡山(3社) 6/4就職博in大阪(3社) 市内企業PRパンフレット作成:市内企業194社掲載 地元企業魅力発信広告グッズ設置:延べ29社掲載、大学等12箇所設置 地元企業就職PR動画作成:12件
	【今後の課題・方向性】 今後は、事業者の事業規模に関わらず、数多くの求職者と会える機会を創出するため、県外 合同企業説明会への出展に代えて、市内でのマッチング機会の創出などにシフトすることが必要と考える。

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 [KPI] 説明会開催大学数	167%	600%	67%		
	2 [KPI] 県外からの転入・就職者数	218%	197%	182%		
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	他の移住相談会と日程が重複したこと、また、参加者が見込める大学を中心に参加したことにより、平成30年度は目標を下回ったものです。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			県やふるさと鳥取県定住機構等、関係団体としっかりと連携しながら、学生やUJターン者に対し効果的に市内企業のPRを行うとともに、鳥取労働局及びハローワーク鳥取と締結した雇用対策協定に基づき、市内での人材の掘り起こしやマッチング支援を推進する。
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	011300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新技術研究開発事業	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ の 目 標 の 予 算	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市新技術研究開発事業補助金交付要綱
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
目標の 予算	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意) 補助金交付 一般会計
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人		
			0	0		
				0	0	
予算	予算事業名	新技術研究開発事業費	予算事業コード		01-06-01-02-53-03	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に事業所を有する中小企業者
意図 (どのような状態にするために)	地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組を支援し、起業化や新たな事業設立を促進する。
手段 (どうするのか)	産学官連携や農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		新技術、新製品の開発を目的とした共同研究、産学官連携による起業化等の取り組み、農商工連携による取り組みに対する支援	新技術、新製品の開発を目的とした共同研究、産学官連携による起業化等の取り組み、農商工連携による取り組みに対する支援	新技術、新製品の開発を目的とした共同研究、産学官連携による起業化等の取り組み、農商工連携による取り組みに対する支援	新技術、新製品の開発を目的とした共同研究、産学官連携による起業化等の取り組み、農商工連携による取り組みに対する支援	新技術、新製品の開発を目的とした共同研究、産学官連携による起業化等の取り組み、農商工連携による取り組みに対する支援
	年度別実績	活用事業者:1件	活用事業者:なし	活用事業者:1件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,722	732	2,000	0	0
	直接経費 A	1,000	0	551	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,000	0	551	0	0
職員数の内訳	人件費 B	722	732	1,449	0	0
	正規職員	0.10	0.10	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	2	3	3	3
				実施した事業数	目標	1	2	3
	(指標の説明)				実績	1	1	0
2					目標	0	0	0
	(指標の説明)				実績	0	0	0
3					目標	0	0	0
	(指標の説明)				実績	0	0	0

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282
	【10次総の施策体系】2101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P133(経027)
	【事業の概要】 産学官連携や農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援することにより地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組を支援し、起業化や新たな事業設立を促進する。 (1) 新技術研究開発事業: 市内中小企業者の産学共同研究による新技術実用化開発に要する経費を補助。 (2) 農商工連携推進補助金: 市内中小企業者の農商工連携による新商品開発等に要する経費を補助。 (3) 産学官連携企業家推進支援事業: 産学官連携により、本市での企業か及び新たな事業設立をめざす中小企業者・個人等に対して、その取組を支援。 上記いずれの事業も、補助上限額100万円(補助率: 2/3)
	【事業の成果】 鳥取大学との共同研究により科学的に検証された付加価値の高い加工食品(特定の傷病に対する効果を見込める食品)を「動物病院専売品」として新たに商品化する民間企業の新たなビジネスに対する支援を行った(1件)。 (参考) 平成28年度: 1件 平成29年度: 0件
	【今後の課題・方向性】 本市には、鳥取大学、公立鳥取環境大学の知の財産や鳥取県産業振興機構、産業技術センター等の産業支援機関が立地しているとともに、中小企業においては、産学官連携による新技術の開発、新製品の開発、高付加価値化等が求められており、引き続きその取組を支援する。

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	実施した事業数	100%	50%	67%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	支援事業の継続的な啓発が必要と考える。地域商社ととりなどの取組とも連携し、事業者の製品開発や実用化等を一層支援していく必要がある。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	中小企業における農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を一層促進し、製品・サービスの高付加価値化を進め、地域経済の成長を維持・拡大させていく必要がある。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	011401	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	働き方改革推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ の 目 標 の 予 算	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成29年度～全期	
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	働き方改革を推進するための関 係法律の整備に関する法律	
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標 の 予 算	目標の種別		平成28年度	令和2年度			
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	事業分類区分	ソフト(任意)	
			0	0	運営方法	直営	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	働き方改革推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-43-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地元企業
意図 (どのような状態 にするために)	働き方改革の推進により、生産性の向上や人材確保に繋げる。
手段 (どうするのか)	働き方改革推進アドバイザーの企業訪問により、経営戦略の観点で市内企業の実態と課題の掘り起し、対応策の助言や情報提供を行うとともに、中小企業経営者向けの働き方改革セミナー等を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		企業向けセミナーの実施 ワーク・ライフ・バランスに取り組む市内企業の調査等を行う H28年度まで「ワーク・ライフ・バランス推進事業」として実施していたもの	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。
事 業 費	年度別実績	平成29年1月18日に企業向けセミナーを実施。 ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の事例を調査し、それらを紹介したパンフレットを作製。	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問:28社 中小企業経営者向け働き方改革セミナーを実施。参加者は75人(58企業)	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問:186社 中小企業経営者向け働き方改革セミナーを実施。参加者は83人(58団体)		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	14,393	8,338	8,483	0	0
	直接経費 A	8,783	2,696	2,815	0	0
	国・県	3,682	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
職員費の内訳	一般財源	5,101	2,696	2,815	0	0
	人件費 B	5,610	5,642	5,668	0	0
	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
職員数の内訳	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	[KPI] 参加事業所数	社	目標	50	50	60	60	60
			実績	45	58	58	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284
	<p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算 P131 (経023)</p> <p>【事業の概要】 地元企業の生産性の向上や人材確保に繋げるため、働き方改革推進アドバイザー1名を配置し、企業訪問により、経営戦略の観点で企業の実態と課題を掘り起しを行い、また、中小企業経営者向けの働き方改革セミナーを開催した。</p> <p>【事業の成果】 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問(186社) 中小企業経営者向け働き方改革セミナーの開催 医療・介護: 参加者29人(17団体) 卸・小売業: 参加者27人(19団体) 製造業: 参加者27人(22団体)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も地元企業の生産性の向上や人材確保に繋げるため、企業の実態と課題を掘り起こし、企業の抱える課題に対しアドバイスなど支援を行っていく。</p>

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	[KPI] 参加事業所数	90%	116%	97%		
1						
2						
3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果  6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	今後も地元企業の生産性の向上や人材確保に繋げるため、企業の実態と課題を掘り起こし、企業の抱える課題に対しアドバイスなど支援を行っていく。		



## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225
	【10次総の施策体系】2102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P139(経040)
	【事業の概要】 市内企業の雇用維持、創出を促進し、地域経済の発展を図る。 鳥取市大量雇用創出補助金 鳥取市液晶産業雇用支援補助金
	【事業の成果】 大量雇用創出補助金 平成28年度 2社 平成29年度 2社 平成30年度 1社 液晶産業雇用支援補助金 平成28年度 1社 平成29年度 1社 平成30年度 1社
	【今後の課題・方向性】 補助対象企業数が年々減っており、事業の見直し検討が必要。 補助対象企業が限定されており、他の手段等がないか検討余地あり。

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
1	大量雇用創出補助金交付企業における1社当たりの新規雇用者数	135%	175%	145%		
2	液晶産業雇用支援補助金交付企業の雇用者数	115%	116%	112%		
3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	要件を満たさず交付に至らなかった企業があったが、他企業の積極的な採用により計画は達成した。
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を上回る1社あたり29名の雇用が増加した。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
			本市における有効求人倍率は一定の回復を見せ、平成31年3月時点で全国平均値1.63に対し県東部1.32と上回る状態で推移している。一方で、事務的職業の有効求人倍率は0.50と非常に低い水準となっている。当該事業は慢性的に不足している事務系の雇用の場を確保・創出するために作られた事業であり、今後も必要に応じて制度の見直しを行いながら、事務系職種の立地に注力していく。液晶産業雇用支援補助金については、地元最大規模の事業所の事業再編から雇用を守るために創設された制度だが、下水道料金の変動に合わせ必要予算も変動するものであり、目的達成手段として本事業が最善であるか、関係課を含めて検討が必要である。
担当課長の評価コメント ('今後の方向性'を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)			

## 事務事業評価シート

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

平成30年度 第10次鳥取市総合計画

## 1. 基本情報

II. 基本情報						
総合計画づけの位置	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度～全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	公民館における若者のまちづくり事業実施要項
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
目標の施策	目標の種別			平成28年度	令和2年度	
	正規雇用の創造数			1,000人	5,000人	事業分類区分
				0	0	運営方法
				0	0	会計区分
予算	予算事業名				予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

2. 事業目的（EATN）	
対象 (何を、誰を)	若者（大学生等）及び地域（地区公民館もしくはまちづくり協議会）
意図 (どのような状態にするために)	<p>(1) 地域の活性化</p> <p>(2) 学生間のネットワークを活用した新たな地域の魅力創造</p> <p>(3) 実社会への適応能力のより高い、実践的な地域を担う人材育成</p>
手段 (どうするのか)	若者に地域活動や地区公民館事業へ参画してもらい、新たな発想を取り入れる。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3. 事業の年度別計画実績【PLAN+DO】		平成年度別の取り組みを箇別に記入				
内 容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別計画	各地区公民館にインターンシップ受入可能な照会募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れし、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間、10館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れし、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れし、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れし、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集
事 業 費	年度別実績	5地区公民館から受入回答 職員課を通して受入募集 大学生等の希望なし	18人 2館	19人 4館		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事 業 費	事業費(A+B)	722	732	724	0	0
	直接経費 A	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	人件費 B	722	732	724	0	0
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】地区公民館係 0857-30-8178
	【10次総の施策体系】3101
	【予算計上の経過】当初予算(予算事業別概要なし)
	【事業の概要】 地域社会の担い手となる若者(大学生等)が、地区公民館事業などに参加(日々雇用)することで、まちづくりに積極的に参画する人材育成を図ることを目的とともに、地域のまちづくりの活性化を図る。
	【事業の成果】 平成29年度 2館 18人 平成30年度 4館 19人
	【今後の課題・方向性】 地区公民館、鳥取大学や公立環境大学と連携しながら、若者(大学生等)がまちづくり活動や地域貢献活動に気軽に参画できるよう継続して取り組む。

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 [KPI] 地区公民館等のインターンシップ受入数			360%		
	2 [KPI] 地区公民館等のまちづくり事業に参加する大学生等の受入数				190%	
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
		<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		地区公民館、鳥取大学や公立鳥取環境大学と連携しながら、若者(大学生等)がまちづくりや地域貢献活動に気軽に参加することで地域を担う人材を育成するとともに、地域の活性化につながるよう継続して取り組む。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	035700	重点施策	しごとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	国際経済交流推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
施 策 の 目 標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意) 外部委託 一般会計
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人		
			0	0		
予算	予算事業名 国際経済交流推進事業費		予算事業コード 01-06-01-02-41-20			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海外でのビジネスを検討している市内企業・事業者及び経済観光団体
意図 (どのような状態にするために)	環日本海地域ほか海外における貿易振興、観光客誘致
手段 (どうするのか)	貿易に関する相談窓口等サポート、貿易支援機関から収集した情報提供、海外への商談会・フェアへの出展、外国人留学生地域就労支援事業を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		環日本海諸国との経済交流の推進	環日本海諸国との経済交流の推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターナンシップの推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターナンシップの推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターナンシップの推進
	年度別実績	交流事業 ・中国延吉団門江地域国際投資貿易フェア出展 ・環日本海拠点都市会議(韓国東海市)出展PR事業 ・延辺朝鮮族自治州交流職員研修受入 ・食品輸出「入門」セミナーなど	交流事業 ・中国延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団受け入れ ・延辺朝鮮族自治州との文化芸術経済交流 ・第22回北前船寄港地フォーラムin鳥取 ・外国人材活用による地域経済活性化セミナーなど	交流事業 環日本海拠点都市会議(中国珲春市)出展 延吉団門江地域投資貿易フェアに経済訪問団(民間・社合む)派遣 ・延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団を受け入れ 留学生インターナンシップの実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	16,950	14,113	15,371	0	0
	直接経費 A	14,784	11,917	13,198	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県 地方債 その他	0 0 0	0 0 1,600	0 0 0	0 0 0
	一般財源	14,784	11,917	11,598	0	0
	人件費 B	2,166	2,196	2,173	0	0
職員数の内訳	正規職員 嘱託職員 臨時職員	0.30 0.00 0.00	0.30 0.00 0.00	0.30 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	1	マッチング支援件数	件	目標 実績	80 92	80 48	80 174	80 0
	(指標の説明) 基準値: 平成26年度実績(企業訪問・企業相談件数)							
2	外国人留学生のインターナンシップ参加者数		人	目標 実績	0 0	0 0	10 4	10 0
	(指標の説明) 基準値: インターナンシップに先立ち行われるセミナー参加上上限数の50%							
3				目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)							

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283
	【10次総の施策体系】2102
<p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P126(経014)6月補正・P24(経002)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターで、地元企業の貿易相談、経済・観光講習会の実施、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング、国際観光支援、市民交流等を行う。併せて、外国人留学生の地域就労に向けた支援を行う。また、環日本海地域の都市に鳥取市経済訪問団等を派遣し、経済文化交流等を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>環日本海経済交流センターでの貿易相談等(134件)・外国関係者等とのマッチング(41件)・翻訳・通訳業務(125件)等の実施。</li> <li>環日本海拠点都市会議(中国琿春市)に鳥取市広報館出展・PR事業(8月)</li> <li>第12回中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェア(中国延吉市)に鳥取市経済訪問団(民間企業4社含む)を派遣(8月)</li> <li>延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団の受入れ、ビジネスマッチング等を実施(3月)</li> <li>国際経済発展協議会での外国人留学生地域就労支援事業の実施 (一財)自治総合センター:平成30年度コミュニティ助成事業の採択 ・外国人材活用セミナー(8月:27名、9月:39名) ・留学生インターン受入企業支援セミナー(11月:10社、2月:5社) ・留学生向けキャリア教育・就労支援セミナー(12月:10名) ・留学生インターンシップ(3社・留学生4名参加)</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 センター機能のさらなる拡充を進め、経済発展著しいベトナムなどのアジア諸国と地元企業との取り組みや、六法を促進していく必要があります。</p>	

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 マッチング支援件数	115%	60%	218%		
	2 外国人留学生のインターンシップ参加者数			40%		
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	マッチング支援は、当初目標値を上回る実績となったが、留学生支援は、7月豪雨災害の影響でスケジュールに沿ったインターンシップ実施に至らず、インターンシップ参加者数としては目標を下回った。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	スタッフの育成と海外での積極的な涉外を行い、市内中小企業の海外展開を積極的に支援する。 海外展開やインバウンド需要の取込みに向けた中核人材となり得る留学生の地域就労を促進するため、宿泊型インターンシップを夏季休業中に実施し、県外留学生も含め、地域への取込みを行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	035800	重点施策	しごとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中小企業中核人材育成支援事業	所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

## 1. 基本情報

位置 計画 づけ	体系区分	コード	名 称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市中小企業中核人材育成支援事業補助金交付要綱
	施策	2101	雇用の創造・人材の確保			
目標 の 施 策 の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意) 補助金交付 一般会計
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人		
			0	0		
予算	予算事業名	中小企業中核人材育成支援事業費	予算事業コード		01-06-01-02-41-57	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に本店又は支店が所在する中小企業者等
意図 (どのような状態にするために)	経営の中核を担う業務に必要な技術、技能又は知識の習得を図るために研修制度を利用した場合、その経費の一部を補助することにより、市内企業の安定、成長を後押しする。
手段 (どうするのか)	経営戦略の構築や経営の改善を担う人材に研修を受講させる企業に対する補助 ・補助率：4/5（サテライトゼミ 9/10） ・補助の上限：1事業所当たり上限100千円（サテライトゼミ 上限30千円） 同一事業所への補助は2箇年に限り、2年目については上限を50千円とする。（サテライトゼミ 15千円）

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内 容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
年度別計画			中核人材に研修を受講させる企業に対する補助	中核人材に研修を受講させる企業に対する補助	中核人材に研修を受講させる企業に対する補助
年度別実績			大学での受講：3件 サテライトゼミ受講：9件		
区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費(A+B)	0	0	956	0	0
直接経費 A	0	0	232	0	0
直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	232	0
人件費 B	0	0	724	0	0
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指 標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	[KPI] サテライトゼミ参加希望者数	人	目標	0	0	15	60	0
1		実績	0	0	9	0	0	0
	(指標の説明) 目標値は2か年累計:H30~H31							
2		目標	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3		目標	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

## 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】商業振興係 0857-30-8283
	【10次総の施策体系】2103
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正予算・P25(経003)
	<p><b>【事業の概要】</b> 補助対象：市内に本店又は支店が所在する事業者 補助対象経費：独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置する全国9か所の中小企業 大学校で開講する中小企業向け研修及び本市で開催する中小企業大学 校サテライトゼミの受講料 補助率：4/5(サテライトゼミは9/10) 補助の上限：1事業所当たり上限100千円(サテライトゼミは上限30千円) 3箇年限定の事業とし、同一事業所への補助は2箇年に限り、2年目については 上限を50千円とする(サテライトゼミは15千円)。</p> <p><b>【事業の成果】</b> 平成30年度 補助件数12件(大学での受講：3件 サテライトゼミ受講：9件)</p> <p><b>【今後の課題・方向性】</b> 本制度の周知を図り、事業者の活用を促すとともに、サテライトゼミの開催に当たり、 市内事業者のニーズを把握し、効果的なサテライトゼミの企画を進めていく。</p>

## 6. 活動指標の達成率 【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	[KPI] サテライトゼミ参加希望者数			60%		
1						
2						
3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

## 7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を下回った要因として、本事業が平成30年6月議会後に開始したため、周知期間が十分ではなかったことや、サテライトゼミの研修期間が3か月間であったため、中小事業者が事業を知ってから短期間でのスケジュール調整が困難であったためと思われる。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
		<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了

担当課長の評価コメント  
(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)

本制度の周知を図り、事業者の活用を促すとともに、サテライトゼミの開催に当たり、市内事業者のニーズを把握し、効果的なサテライトゼミの企画を進めていく。